

各年代で展開されるふるさと教育

教育委員会だより

益田市教育委員会より 平成29年5月25日発行

第1号

教育長就任にあたって

教育長 柳井 秀雄



4月1日付けで教育長に就任した柳井秀雄です。益田市は「ひとづくり」に重点を置いた施策を行っており、教育は未来を担うひとづくりだと思います。教育は国家百年の大計とも言われますが、正に教育はひとづくりであり、未来づくりの営みといっても過言ではありません。

私は長年教育現場で子どもたちの指導にあたってきました。若かった頃は、子どもたちに学習内容を分かせたい、できるようにさせたい、人間的にも成長させたいと考えていました。しかし、ある時から考えが変わってきたような気がします。教師が「○○させた」「○○したい」というような授業を作っていくか、自ら学んでいかないのか、と考えるようになり

ました。自ら主体的に考えたものは心に残る、それが例え結果として間違いであっても、そして話し合うことにより、より考えが深まってくると思えました。それ以来、子どもたちが、自ら考えていくよう授業の導入を工夫し、子どもたちが「おや、どうして?」と考えたくなるような問題を考えました。

そこには、子どもたちが大人になっても学び続ける人になってほしいという願いがあったのです。これからの世の中は変化の激しい時代、先行き不透明な時代とも言われています。未来を切り開いていくには、自ら学び続けることが大切だと思います。

また、一方では社会が豊かになった反面、人として大切な他人を敬う、感謝するといったことが薄れてきたようにも思います。そんな中、夢や希望が持てない子どもたちが増えているように思います。こんな時代だからこそ、夢の持てる子どもたちを育てていきたいと思えます。

益田市で生まれ育った私にとって、本市の教育行政を預かることは、大変光栄であると同時に、今後の歩みを考えれば、身が引き締まる思いです。各種施策に取り組みされた村川修前教育長の思いを引き継ぎ、市長と教育全般の将来像を描き、誠心誠意努力し、与えられた使命を全うしたいと思います。



今年も「学び舎ますだ」がスタート!

益田市教育委員会の事業として、平成26年度からスタートした「学び舎ますだ」が、4年目を迎えた今年もスタートしました。この事業は、学校外の学習の場を設けることで、児童生徒の学習習慣の定着を図り、学力の向上につなげることを目的としています。

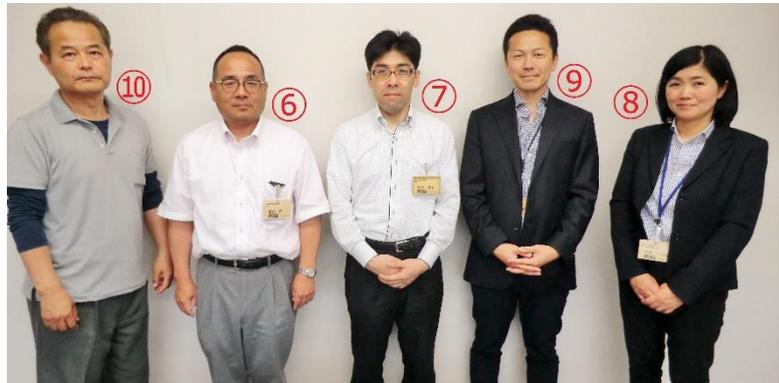
今年を対象学年を、小学校3年生から中学校3年生までとし、小学4年生から3年生を対象学年を引き下げて、さらに事業を充実させていきます。講師は、退職



職員の異動がありました

平成29年4月1日付け人事異動による新任職員を紹介いたします。

- | | |
|------------|---------|
| 教育部長 | 藤井 寿朗① |
| 教育総務課 | |
| 課長 | 山本 裕士② |
| 課長補佐 | 斎藤 一臣③ |
| 主任 | 高森 雅子④ |
| 技能指導主任 | 石川 荒二郎 |
| | (益田中勤務) |
| 学校再編・整備推進室 | |
| 室長 | 田原 啓文⑤ |



- | | |
|---------|--------|
| 学校教育課 | |
| 課長 | 武内 白⑥ |
| 主査 | 高橋 輝吉⑦ |
| 教育改革推進室 | |
| 指導主事 | 江角しのぶ⑧ |
| 派遣指導主事 | 宮田 茂樹⑨ |
| 指導員 | 沖田 敦⑩ |

- | | |
|----------|--------|
| 社会教育課 | |
| 主任主事 | 豊田 浩司⑪ |
| 派遣社会教育主事 | 田原 俊輔⑫ |
| 文化芸術振興室 | |
| 主査 | 水津 美香⑬ |
| 文化財課 | |
| 主事 | 増野 優香⑭ |
- よろしくお願ひします。



新たなステージに進むふるさと教育！

昨年度、保・小・中・地域の担当者が一堂に会し、各中学校区のふるさと教育について話し合いました。各中学校区で決めた共通のテーマを、それぞれの年代にまたがり一貫して取り組むという内容です。年間3回が基本でしたが、多い地区では、さらに数回、地区ごとに主体的に集まって話し合いを行いました。

地区ごとの違いはありますが、ここまで縦の繋がりと横の繋がりを意図した協議の場づくりは、初めてのことです。

その背景の一つに挙げられることが、新学習指導要領で提示されている「社会に開かれた教育課程」の実現です。

各校の教育を魅力あるものにするためにも、すべての年代の指導者が、一人の子どもの過去・未来を見通

した関わりや取組を行うことが必要です。今年度は、そこに高校との関連性を持たせるなど、縦の繋がりをより強いものにしていきます。

また、学校と地域の協働はもちろんのこと、昨年度に引き続き、民間の事業所等との連携・協働を充実していくことで、横の繋がりを充実させていきます。

益田市では、一昨年度「益田市の未来を担うひとづくり計画」を策定し、縦と横の繋がりを豊かにしながら、次世代育成の取組を進めています。各校でもライフキャリア教育として、

具体的なプログラムを実施しています。新学習指導要領の動きは、その取組と非常に親和性の高いものです。

益田市では、これまでふるさと教育に取り組む過程



で、学校と地域の連携が非常に充実してきました。今後、その連携をより深め、ふるさと教育を新しいステージに進めていく時期にきています。

そのために必要なことは、学校・家庭・地域・行政・民間などが、それぞれ主体者となって協働し、益田市の未来を担う子どもたちに関わっていくことです。ともに取組を進めていきましよう。

美都町歴史ウォークを行いました

「益田市の文化遺産を未来につなぐ実行委員会」は、歴史を活かしたまちづくりの実現に向けて、文化財の調査や講演会、ワークショップの開催等に取り組んでいます。

その活動の一環として、美都地区ボランティアガイドの養成講座があります。昨年度は、講座参加者が実際にウォークイベントでガイドすることを目標に、3回の現地調査を行いました。そして、3月18日に

講座参加者がガイドを行いながら、江戸時代に石見山間部を結んだ街道を歩く、石見中通り往還歴史ウォークを開催しました。

当日は約50名の参加者が集まり、ふれあいホールみとを出発して、都茂地区から宇津川地区まで約6kmの道のりを歩きました。美都町には城跡や古墳など多

くの文化財がありますが、今回のウォークでは、島八幡宮や秦記念館、丸茂城跡などを見学しました。ウォークの開催にご協力いただいた皆様、参加者の皆様、本当にありがとうございました。

地域の文化をじっくりと見つめ、歴史を学んだことで、地域の魅力を再発見できました。今後のウォーク開催の機会には、皆さんもぜひご参加ください。



就任のご挨拶

教育委員

舟橋 道恵

寄付・寄贈のお礼

平成28年12月26日付けで、益田市教育委員会委員に就任しました舟橋道恵です。現在、民生委員等の役割をいただいております。

校・関係機関・地域の皆様方の協力的な支援の中、自立していく姿に出会えた喜びは、今も心の宝の一つとなっております。

教職を退職後、益田市子ども・若者支援センターに6年間勤務しました。不登校・引きこもり等の困難を有する子どもや若者たちが、スタッフ・家庭・学

このたび、貴重な任務である教育委員というお話をいただき戸惑いしましたが、益田市の教育に関わらせていただけることに感謝し、お引き受けしました。

私は、オリンピックやパラリンピックのように障がいのある方無き方、老若男女一人一人が輝き、その姿を温かい眼差しで応援する周囲に、明るい展望を感じています。微力ではありますが、活力ある学校・地域づくりの一助となるよう努めてまいりたいと存じます。

真砂小・中学校新入生歓迎給食会が行われました

4月20日、真砂中学校で、真砂小・中学校新入生歓迎給食会が行われました。この会は、30年以上継続している恒例の会で、小中学校合同で開催するという市内でも珍しい取組です。新入生、新入職員、栄養士の自己紹介から始まり、栄養士による栄養に関するクイズなどのレクリエ

ーションを通して、楽しいひとときを過ごし、親睦を深めました。

中学生の方からいただいた感想を紹介します。

☆ ☆ ☆

歓迎給食会は、小中合同で新入生を歓迎して、楽しく会食し交流を深めるために毎年行われています。みんなですべて楽しんでいます。

入生との仲も深まったので、良い会食になったと思います。

池田栄養士さんからの魚の栄養についてのお話や、実物大の写真を見て、名前を当てるクイズをしていただきました。小学生がたくさん手を挙げてクイズに答えていてすごいと感心しました。



成人式実行委員会 様



国際ソロプチミスト益田 様

- ・ 小学校1年生に寄贈
- ・ 防犯笛
- ・ 日本マクドナルド株式会社 様
- ・ 防犯ブザー
- ・ 株式会社エフエム山陰 様
- ・ 交通安全標識定規
- ・ 大畑グループ交通安全協議会 様
- ・ ランドセルカバー
- ・ 益田あけぼのライオンズクラブ 様
- ・ 黄色い手帳
- ・ 山陰中央新報社および山陰中央テレビ 様
- ・ 吉田小学校PTA 様
- ・ 市立図書館に図書寄贈
- ・ 平成28年度益田市成人式実行委員会 様
- ・ 国際ソロプチミスト益田 様